別紙2

令和3年度　重点事業化促進プロジェクト（新規5事業）				
事業名	団体名	対象区域	主な構成員	事業概要
更別村スマートシティ実行計画	更別村スマート産業イノベーション協議会	北海道更別村	更別村、株式会社長大、更別プリディクション・東京大学、日本電気株式会社等	・「100歳になってもワクワク働くことができる世界一村民が幸せな村、世界一長寿な村」を目指し、過疎の村での3D都市モデルや、高齢者向けコミュニケーションタブレットの活用等のスマート化により「村民のQOL向上」と「農業生産性の向上」を同時に実現を目指す。
三重広域連携スーパーシティ事業実行計画	三重広域連携スーパーシティ推進協議会	三重県多気町・明和町・大台町・度会町・大紀町・紀北町	多気町、大台町、明和町、度会町、大紀町、紀北町、大日本印刷株式会社、オリエンタルコンサルタンツ株式会社、株式会社アクアイグニス、MRT株式会社、Monet Technology株式会社、三菱電機株式会社、フィノバレー株式会社、ダイナミックマップ基盤株式会社等	・グリーンフィールドで実践する先端技術を、ブラウンフィールドである近隣基礎自治体6町に水平広域展開し、共通IDとデータ連携基盤を活用した利用者目線の利便性の高い先端サービスなど6町共用モデルの構築を目指す。
オールドタウンの持続性を高める先端技術実証事業実行計画	咲っく南花台リビングラボ2.0運営研究会	大阪府河内長野市	河内長野市、関西大学、南花台自治会、河内長野市医師会、（株）ヤマハ発動機、（株）NTTドコモ、関西電力（株）、（株）三菱総合研究所等	・高齢化が急激に進む開発団地の持続性を高めるため、地域通貨・遠隔診療・移動支援について、将来効果的に地域住民の生活に寄与する仕組みの構築などにより、「住み慣れた場所で、健康的に生きがいを持ち暮らし続けられるまち」を目指し、「高い地域力」と「新たなテクノロジー」の融合により「豊かな生活」の創出を目指す。
コンパクトスマートシティプラットフォーム事業実行計画	一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会	大阪府豊能町	豊能町、公立大学法人大阪市立大学、大阪大学大学院 、株式会社OZ1、NECネッツエスアイ株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、関西電力株式会社、株式会社NTTドコモ、特定非営利活動法人Code for OSAKA、大阪スマートシティパートナーズフォーラム（OSPF）、一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会等	・ IT人材不足・予算不足の自治体でも無料や低額でスマートシティをスタートできるコンパクトスマートシティプラットフォーム（CSPF）の　実装・実証を行い、全国で住民のQoLの向上および地方創生を目指す。
延岡市スマートシティ事業実行計画	延岡市スーパーシティ構想準備協議会（国土交通省「スマートシティモデルプロジェクト」プロジェクトチーム）	宮崎県延岡市	延岡市、東京大学、凸版印刷、三菱電機システムサービス、三菱UFJニコス、テレビ宮崎関西テレビ、バス運行事業者等	・「市民力」を最大の特徴とする延岡市のスマートシティ／スーパーシティは、人づくりを担う教育分野や安全・安心を確保する防災分野を中心に、市民生活に直結するさまざまな分野で高い相乗効果を生み出し、早期に成果を達成することを目指す。